

## 令和3年度「横浜市民防災センターの利用状況及び防災対策に関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

### 1 アンケート結果の事業等への活用状況

Q17の自由意見において、横浜市内に転居した際に、「横浜市民防災センターや横浜市の防災・減災」に関する説明がなかったという意見を反映し、転入時に手にしていただくことが多いハザードマップに横浜市民防災センターの紹介を掲載してもらえよう発行所管課を調整していきます。

Q17の自由意見において、「SNS等を活用し、横浜市民防災センターの広報を実施すべき」というご意見を多数いただいたことから、今後は横浜市消防局が運用している Facebook 及び Twitter で定期的に横浜市民防災センターに関する情報を配信していきます。

### 2 アンケートを実施した感想

Q8の「横浜市民防災センターでどのようなことができれば来館したい人が増えると思いますか。」に対する回答のその他意見として、「インストラクターの案内があると敷居が高くて行きにくい」というご意見から、ご自身で自由に見学できるエリアの拡充を図っていくことが必要だと感じました。

また、災害が発生した際にニュース等で「警戒レベル」について放送されていますが、Q15の「避難情報の「警戒レベル」を知っていますか。」の質問において、「聞いたことはあるが、意味までは分からない」と回答された方が57.1%（989人）となっており、多くの方がその意味までは理解されていないことが分かりました。避難行動をとるきっかけにもなる「警戒レベル」の意味の認知については市民の皆様命に係わることなので、これまで以上に周知に力を入れていかなければならないと感じました。

### 3 担当部署のeアンケートメンバーへのメッセージ

この度は、「横浜市民防災センターの利用状況及び防災対策に関するアンケート」にご協力いただきありがとうございます。

皆様からいただいたご意見を参考に、より親しみやすく、より分かりやすい横浜市民防災センターの運営を行っていきます。

災害はいつ、どこで発生するか分かりません。しかし、日頃の訓練や備えにより、自分や家族を守る（自助）や周りの方々と助け合うこと（共助）が可能になります。

ぜひ一度、防災・減災のために必要な「自助・共助」について学びに、横浜市民防災センターへご来館ください。

担当：消防局横浜市民防災センター

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。